

OLYMPUS

Your Vision, Our Future

OLYMPUS Investor Day 2017

財務戦略

2017年9月13日

オリンパス株式会社

取締役副社長執行役員 CFO

竹内 康雄

16CSP

- 本資料のうち、業績見通し等は、現在入手可能な情報による判断および仮定に基づいたものであり、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、実際の業績等が目標と大きく異なる結果となる可能性があります。
- また、これらの情報は、今後予告なしに変更されることがあります。従いまして、本情報及び資料の利用は、他の方法により入手された情報とも照合確認し、利用者の判断によって行って下さいますようお願い致します。
- 本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

16CSP振り返り – ROE重視の経営 –

16CSP 経営目標 ROE15%

財務面の取り組み

収益性（純利益）の向上

金融収益および費用の改善

財務体質強化：自己資本比率改善 = 有利子負債圧縮

格付け向上

資金調達手段の多様化：社債発行による調達コスト低減

資産効率性の向上

政策保有株式の適切なコントロール：固定資産圧縮

財務レバレッジのコントロール

株主還元向上：財務安定性の確保と財務レバレッジのバランス

経営資源（資本・資金等）配分の考え方

経営資源
(資本・資金等)

安定した財務基盤の確保を前提とし、医療事業への成長投資を優先した上で、適切な株主還元を行う

内部留保

財務健全性

- 事業特性、リスクを踏まえ、財務基盤の強化を優先し、自己資本の安定的な向上を図る（自己資本比率 50%を目安にコントロール）

キャッシュアウト

1 成長投資

- 医療事業を中心とした成長スピードを維持・加速するための成長投資を継続
 - ✓ 要員投資 : 全社横断的にリソースを有効活用しつつ、医療事業、専門領域を中心に投資
 - ✓ 設備投資 : 医療事業を中心とした売上拡大に合わせ、生産設備、デモ・ローナー等を拡充
 - ✓ R&D投資 : 新製品開発、次期製品技術、将来技術探索にバランス良く投資
- オーガニックな成長を基本としつつ、戦略上の必要性に応じてM&Aも積極的に検討

2 株主還元

- 総還元性向30%を目安とする

OLYMPUS
